



令和3年2月26日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
観光企画課	活用推進係	田中 入口	内線 3248 直通 058-272-8795 FAX 058-278-2674

大河ドラマ「麒麟がくる」に登場した“平蜘蛛”の展示について

岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会では、大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台である岐阜県の魅力発信及び誘客促進の各種取り組みを実施しています。

今回、好評のうちに放送を終了した大河ドラマ「麒麟がくる」において、武将・松永久秀^{まつながひさ}が所有する天下一の茶器“平蜘蛛”^{ひらぐも}に見立て、実際にドラマ内で使用された茶器を岐阜関ヶ原古戦場記念館に展示します。

また、岐阜市の大河ドラマ館に設置しておりました“十五日おちつき膳”^{じゅうごにちぜん}のレプリカについても、併せて展示いたします。

記

- 1 会 期 令和3年2月27日（土）～3月26日（金）
- 2 場 所 岐阜関ヶ原古戦場記念館 1階 ロビー
（岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55）
※本展示物の閲覧にあたっては、事前に、記念館の開館時間及び休館日をご確認ください。
- 3 展示内容 （1）ドラマ内で“平蜘蛛”として使用された茶器
（2）“十五日おちつき膳”のレプリカ
- 4 参加費 無 料（本展示物の閲覧のみ）
※記念館内の既設の展示資料等を閲覧する場合は、事前予約及び入館料が必要になります。
- 5 主 催 岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会

①平蜘蛛について

【正式名称】古天明平蜘蛛（こてんみょうひらぐも）

低く平らな形状が、蜘蛛がはいつくばっている形に見えることが、名前の由来と言われている。松永久秀が信貴山城にて自害する際、久秀によって打ち壊されたとも、爆死のために爆薬を仕込まれ消失したともされている。

<ドラマ内で“平蜘蛛”として使われた茶器について>

【名称】「透木釜」(作：人間国宝 たかほし けいてん 高橋 敬典 氏)

【所蔵】井関 いせき そうしゅう 宗脩 氏 (大河ドラマ「麒麟がくる」茶道・華道指導)

②十五日おちつき膳について

1582年(天正10年)5月15日、天下統一を目前にした織田信長が、明智光秀に饗応(接待役)を命じ、武田討伐に功をなした三河の徳川家康を安土城に招いた。その際に饗応膳「天正十年安土御献立」がもてなされ、「十五日おちつき膳」は家康が安土城に到着して最初に提供された食事のメニューである。明智光秀は、接待の準備の不始末からか信長の怒りを買い、途中で任を解かれた。この事が本能寺の変の原因の一つと伝えられている。